

現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市立新市保育所旧園舎解体工事

1 現場の状況

- (1) 工事場所は，福山市立新市保育所敷地内です。
- (2) 保育業務中の工事になります。

2 留意事項

- (1) 工事期間中は工事の安全はもとより，周辺地域及び第三者に対して細心の安全対策を講じてください。
- (2) 解体作業中は散水を十分行い，粉塵対策を講じてください。又，重機による振動には十分注意し，移動の際は最徐行を行う等，周辺工作物等に損傷を与えないよう対策を講じてください。
- (3) 重機や資材の搬出入に際しては，徐行運転及び退出時は一旦停止をするとともに，タイヤ洗浄及び適宜，道路・水路清掃を行ってください。なお，敷地東側前面道路は近隣新市小学校の児童の通学路となっているため，工事車両等は登下校時間帯を避けて出入りしてください。
- (4) 高所作業にあたっては，適切な安全対策を講じ，事故の防止に努めてください。
- (5) 火器の使用を伴う作業の際は，適切な消火対策を講じてください。
- (6) 本工事は，建設リサイクル法の対象工事に該当するため，特定建設資材の再資源化に努めるとともに，産業廃棄物は適切に処理してください。
- (7) 工事施工上必要な官公署への手続きは，受注者の責任において速やかに行ってください。
- (8) 契約後は速やかに施工計画書等を提出し，監督員の承諾を受けてください。
- (9) 工事中は，防塵・防音等に努め，必要な養生措置を講じてください。
- (10) 保育業務は日曜日，祝日及び年末年始以外の全ての日に行っています。なお，12時30分から15時までは午睡しているため，防音に配慮してください。
- (11) 朝及び夕方の児童の送迎時間帯は，細心の安全対策を行うとともに工事車両等の通行は施設管理者と協議の上行ってください。
- (12) 7月15日までプールを使用します。使用期間はプールの安全対策とプールに行く動線を確認してください。

3 別途工事

なし

4 工事における「第20回世界バラ会議福山大会2025」ロゴの標示について

「第20回世界バラ会議福山大会2025」が2025年5月18日から24日にかけて開催されます。ついては、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- (1) 使用するロゴは「第20回世界バラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- (2) 「第20回世界バラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。
- (3) 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- (4) 大会ロゴの標示は任意事項とし、標示する際は、発注課へ連絡してください。
- (5) ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日です。
- (6) デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せください。

5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る設計変更等

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、次のとおり実施に努めてください。

ア 「3つの密を避けるための手引き」の活用

各現場に配布し工事等の関係者に周知を図るとともに、作業所等で掲示してください。

・ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokumin

イ 「建設現場の「三つの密」の回避等に向けた取組事例」の活用

各現場に配布し始業前の朝礼やKY活動等において工事等の関係者に周知してください。

・ http://chotatsu.pref.hiroshima.jp/file/kakudaibousi_5.pdf

※各現場での対策事例については、TwitterやFacebook等のSNS活用により普及・展開に努めてください。

例) 「#建設現場の3密対策」を付けたツイートが行われるよう同ハッシュタグを周知する等

- (2) 上述の1を参考に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施することにより追加費用が発生する場合は、実施計画書（様式1）により監督員と事前に協議を行い、必要と認められる対策については変更施工計画書（変更業務計画書）を提出してください。
なお、必要と認められる対策については、設計変更の対象とします。
- (3) 最終精算変更時点においては、実際に履行したことがわかる全ての証明書類（領収書の写し、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等）及び実績報告書（様式2）を監督員に提出してください。
- (4) 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外

等の措置を行う場合があります。

(5) 疑義が生じた場合は、監督員と協議してください。

【設計変更の対象とする対策に係る費用の例】

＜共通仮設費＞

○労働者宿舎での密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費

○現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料

※いずれも、その後の積算における現場管理費率や一般管理費率による計算の対象外とします。

＜現場管理費（業務においては直接経費）＞

○現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用

○現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用

○テレビ会議等のための機材・通信費

※いずれも、その後の積算における一般管理費等率による計算の対象外とします。

このほかにも、感染拡大防止のために必要と認められる対策については、設計変更の対象とします。

6 墜落制止用器具の着用について

労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）としてください。

福山市立新市保育所旧園舎解体工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
1	表紙・図面リスト	16	旧園舎既存建具配置図・建具表
2	解体工事特記仕様書 その1	17	旧園舎既存給排水設備図
3	解体工事特記仕様書 その2	18	プール既存給排水設備図
4	附近見取図・配置図・仮囲図	19	旧園舎既存電灯設備図
5	旧園舎平面図・面積表・仕上表	20	旧園舎既存動力配線図
6	プール平面図	21	プール既存電気設備図
7	旧園舎既存立面図	22	フェンス詳細図
8	プール既存断面図		
9	旧園舎既存天井・床・基礎伏図		
10	旧園舎既存小屋伏図		
11	旧園舎既存矩計図		
12	既存詳細図1		
13	既存詳細図2		
14	既存詳細図3		
15	既存詳細図4		

図面縮尺

A-2 100%

A-3 70%

A-4 50%

註記		工事名称：福山市立新市保育所旧園舎解体工事 福山市保健福祉局ネウボラ推進部保育施設課	主務	課員	次長	担当課長	保育施設課長	図面名称： 表紙・図面リスト 縮尺：	設計 R5.05 訂正	図面番号 1 22

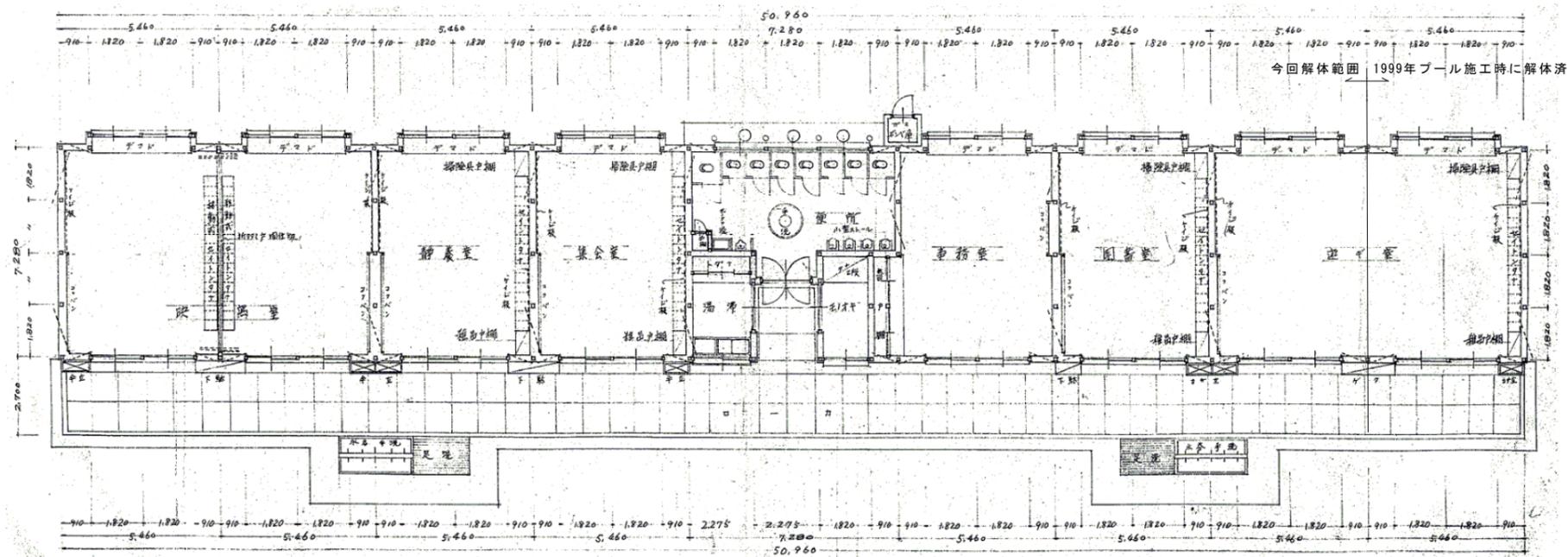
章	項	特記事項	章	項	特記事項	章	項	特記事項	章	項	特記事項							
5	石綿含有建材の除去及び処理	<p>⑤除去物の処理 ※ 密封処理（二重袋梱包） ・ セメント固化</p> <p>3) 除去工法 ※ 図面による ・ 共通仕様書による 施工場所（ ）</p> <p>4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①除去した石綿含有吹き付け材等を搬出するまでの間、現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、石綿等の保管場所であることの表示を行う。当該工事により発生する石綿を含む廃棄物は、下記の処分先を見込んでいる。 処分場所（ ） 運搬距離（ ） 受入条件（※平日受入） ※ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ②石綿を廃棄物として排出した時は、その都度、排出量と処理先を監督員に報告するとともに、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写しを添付した廃棄物処理報告書を提出する。</p> <p>5) 確認及び後片付け ①関係法令に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③養生用のプラスチックシートの撤去に先立ち、高性能真空掃除機で養生面、床等の清掃を行う。 ④養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全面に粉じん飛散抑制剤を散布する。 ⑤壁面等の養生用のプラスチックシートの撤去は、集じん・排気装置で十分に吸引・ろ過し、原則として、隔離空間内部の空気中の総繊維数濃度を測定して、石綿等の粉じんが処理されたことを確認した後に行う。なお、シートは、取り外して粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑥養生を行っていない足場、仮設材を清掃した後解体撤出する。 ⑦床養生用のプラスチックシートは、粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑧養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4 2) ⑤により処理等を行う。 ⑨後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。</p>	<p>⑤</p> <p>化した状態で作業を行う。なお、湿潤化が著しく困難な場合は、除じん性能を有する電動工具を使用するなど粉じんの飛散を防止する。 ③除去した石綿含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋等により二重でこん包する。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 6 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 処分先については、監督員の指示による。 ・ 埋立処分（ ・ 安定型最終処分場 ・ 管理型最終処分場 ） ・ 中間処理（ 溶融施設又は無害化処理施設 ） なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 5) 確認及び後片付け ①関係法令に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分清掃する。</p>															
5	石綿含有保温材等の除去 (6.4.1~6.4.4)	<p>1) 処理を行う石綿含有保温材等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有保温材等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table> <p>2) 養生等 ①石綿含有保温材等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生（負圧不要）を行う。 ②作業場の隔離（ ・ 行う ※ 行わない） 石綿含有保温材等の除去にあたり、掻き落とし・破砕・切断による方法の場合は、作業場の隔離を行うこと。 3) 作業場の隔離を行う場合は、4 2) を適用する。 除去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手ばらし ・ 石綿含有吹き付け材の除去による除去物の処理（※ 密封処理（二重袋梱包） ・ セメント固化）</p> <p>4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 4 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。</p> <p>5) 確認及び後片付け ①関係法令に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。また、石綿の付着が考えられる場合には、必要に応じて粉じん飛散抑制剤又は粉じん飛散処理剤を散布する。</p>	石綿含有保温材等の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				
石綿含有保温材等の仕様	使用部位																	
・	・																	
・	・																	
・	・																	
・	・																	
・	・																	
6	石綿含有成形板等の除去 (6.5.1~6.5.4)	<p>1) 処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有成形板等の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○スレート</td> <td>○旧園舎屋根</td> </tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table> <p>2) 養生等 石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う。</p> <p>3) 除去工法 ①原則、手ばらしで行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならぬ場合は、常時湿潤化した状態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離養生（負圧不要）を行う。 ②除去した石綿含有成形板等の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。 ③破砕された石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。</p> <p>4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①処分は原形のままとし、処分先は監督員の指示による。 ・ 石綿含有石膏ボード ※ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設） なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ②除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物とを分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。 ③石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。</p> <p>5) 確認及び後片付け ①関係法令に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分清掃する。</p>	石綿含有成形板等の仕様	使用部位	○スレート	○旧園舎屋根	・	・	・	・	・	・						
石綿含有成形板等の仕様	使用部位																	
○スレート	○旧園舎屋根																	
・	・																	
・	・																	
・	・																	
7	石綿含有仕上塗材（下地調整塗材含む）の除去	<p>1) 処理を行う石綿含有仕上塗材（下地調整塗材含む）の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有仕上塗材の仕様</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> </tbody> </table> <p>2) 養生等 電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生（負圧不要）を行う。</p> <p>3) 除去工法（ 施工場所： ※ 図示 ） ①石綿含有仕上塗材の除去は、高圧水洗工法や剥離剤を用いる工法等により、湿潤化した状態で行う。 ②電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤</p>	石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位	・	・	・	・	・	・	・	・						
石綿含有仕上塗材の仕様	使用部位																	
・	・																	
・	・																	
・	・																	
・	・																	

構造概要	基礎	布堀コンクリート基礎
	軸部	木造軸組
	屋根	木造及軽量鉄骨造 波型スレート葺(カラープライ)
	床	木造床板張り

各室仕上表

室名	床の仕上	カハの仕上		天井の仕上	備考
		コシ	上部		
映写室	フタフローリング	水拭キ合板 5%	ラスボト下地 プラスチック	麻生吸音板991P09 VP仕上	新991P式面仕切取敷
静養室	A上	A上	A上	A上	

モノタキ	モルタル塗	タタキ合板	ラスボト下地 プラスチック	防炎付板VP仕上	
集会室	フタフローリング	水拭キ合板 5%	ラスボト下地 プラスチック	麻生吸音板991P09 VP仕上	
便所	モザイクタイル貼	高さ1820(10A) 3694L(2枚11L)	合上	防火タイプ板 VP仕上	
合上大便所	合上	合上	合上	合上	各隔=耐水バリアフラッシュ OP仕上
合上掃除機戸棚	モルタル塗	モルタル塗	合上	合上	
湯沸場	モザイクタイル	高さ12段 3694L	合上	合上	戸棚 流し 調理台(200使用)付
事務室	フタフローリング	水拭キ合板 5%	合上	麻生吸音板991P09 VP仕上	
図書室	合上	合上	合上	合上	
遊戯室	合上	合上	合上	合上	



面積表

室名	面積 (㎡)		
映写室	79.50	10.92 × 7.28	79.50
静養室	39.75	5.46 × 7.28	39.75
集会室	39.75	5.46 × 7.28	39.75
便所	28.57	7.28 × 3.64	26.50
		2.275 × 0.91	2.07
湯沸場	8.28	2.275 × 3.64	8.28
物置	6.62	1.82 × 3.64	6.62
事務室	43.06	5.46 × 7.28	39.75
		0.91 × 3.64	3.31
図書室	39.75	5.46 × 7.28	39.75
遊戯室	39.75	5.46 × 7.28	39.75
開放廊下	143.80	50.96 × 2.70	137.59
		2.73 × 2.275	6.21
ガスボンベ庫	1.40	1.40 × 1.00	1.40
小計	470.23		

図面縮尺

- A-2 100%
- A-3 70%
- A-4 50%

註記

工事名称：福山市立新市保育所旧園舎解体工事



福山市保健福祉局ネウボラ推進部保育施設課

主務 課員 次長 担当課長 保育施設課長

図面名称：

旧園舎平面図・面積表・仕上表

縮尺： 1 : 150

設計 R5 .05

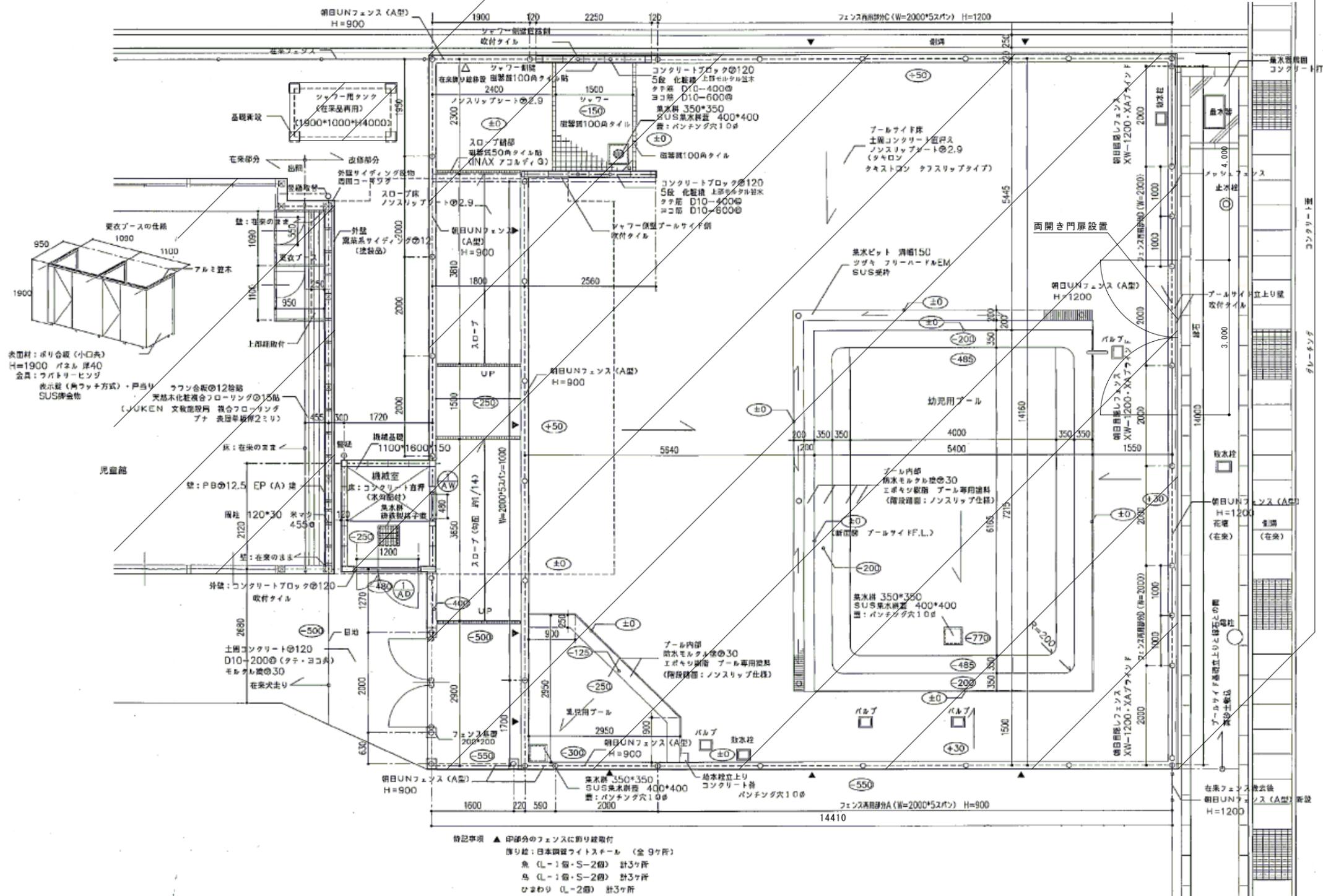
訂正

5

図面番号

22

解体後囲障設置
朝日UNフェンス同等品 H=1200 一部両開き門扉設置



機械室床面積 2.12 × 1.72 = 3.65

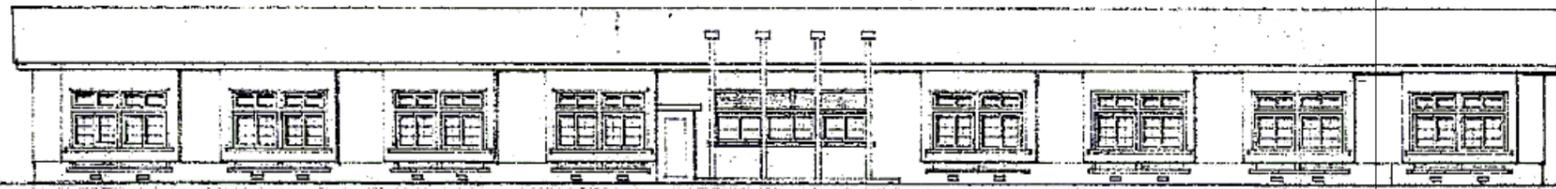


図面縮尺

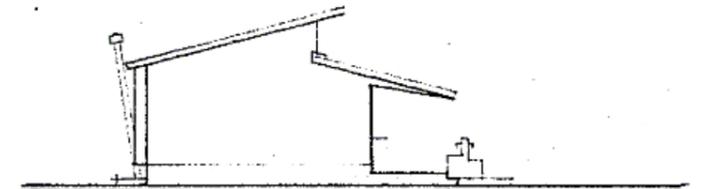
- A-2 100%
- A-3 70%
- A-4 50%

註記	工事名称: 福山市立新市保育所旧園舎解体工事	主務	課員	次長	担当課長	保育施設課長	図面名称: プール平面図	設計 R5 .05	図面番号
	福山市保健福祉局ネウボラ推進部保育施設課						縮尺: 1:60	訂正	6

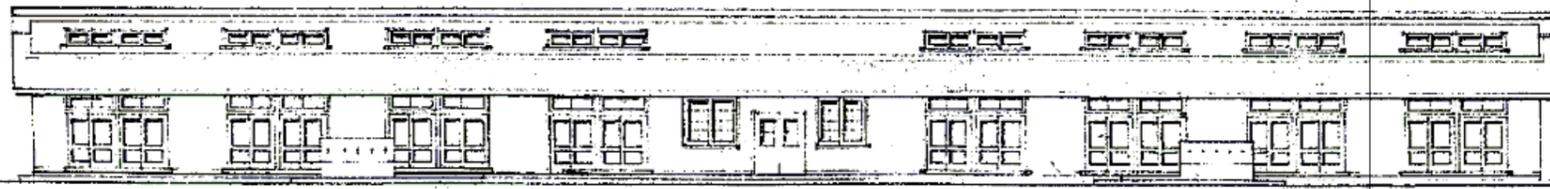
今回解体範囲 1999年プール施工時に解体済



北側立面図



側面立面図



南側立面図

図面縮尺

A-2 100%

A-3 70%

A-4 50%

註記

工事名称：福山市立新市保育所旧園舎解体工事



福山市保健福祉局ネウボラ推進部保育施設課

主務

課員

次長

担当課長

保育施設課長

図面名称：

旧園舎既存立面図

縮尺： NOSCALE

設計 R5 .05

訂正

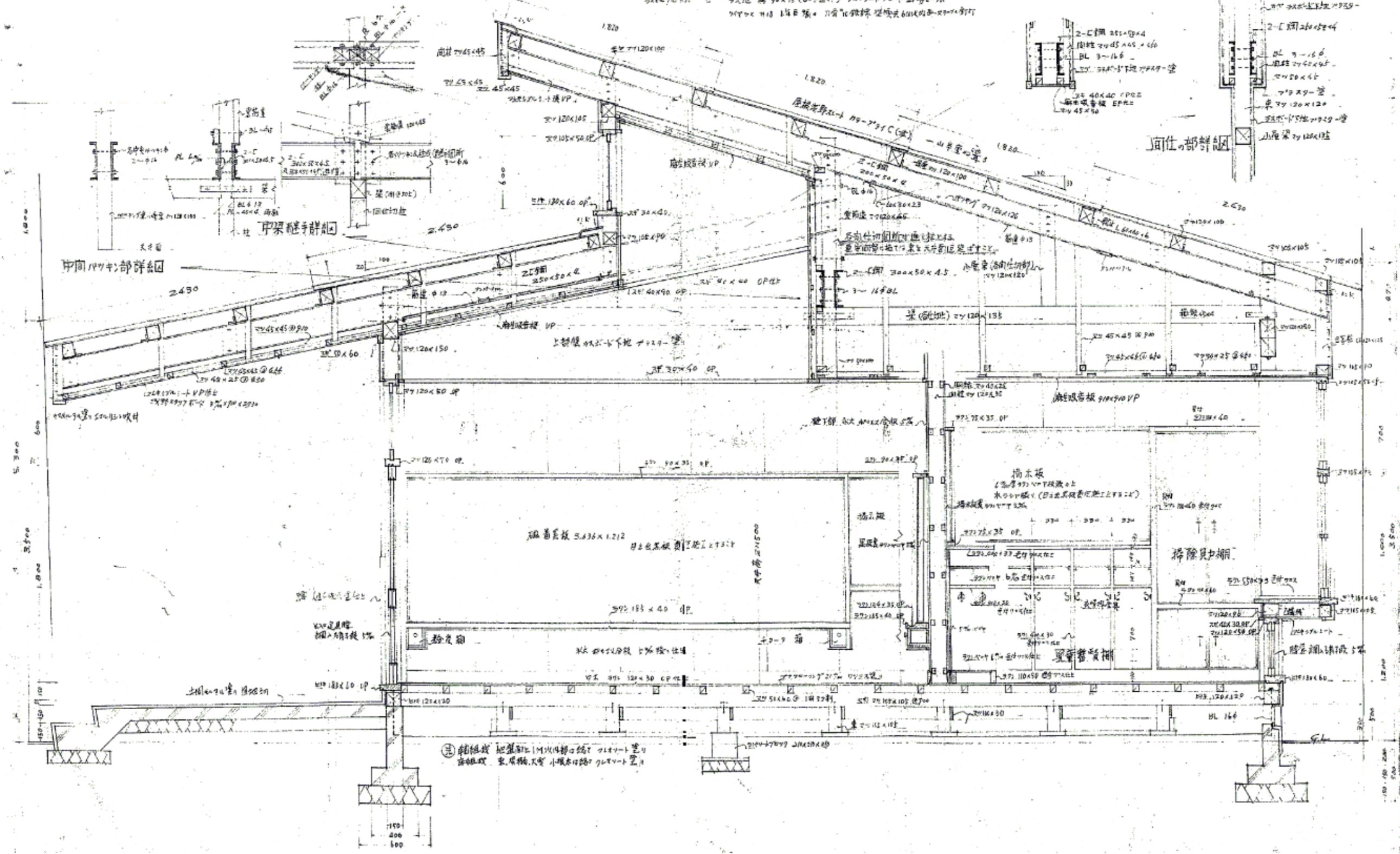
図面番号

7

22

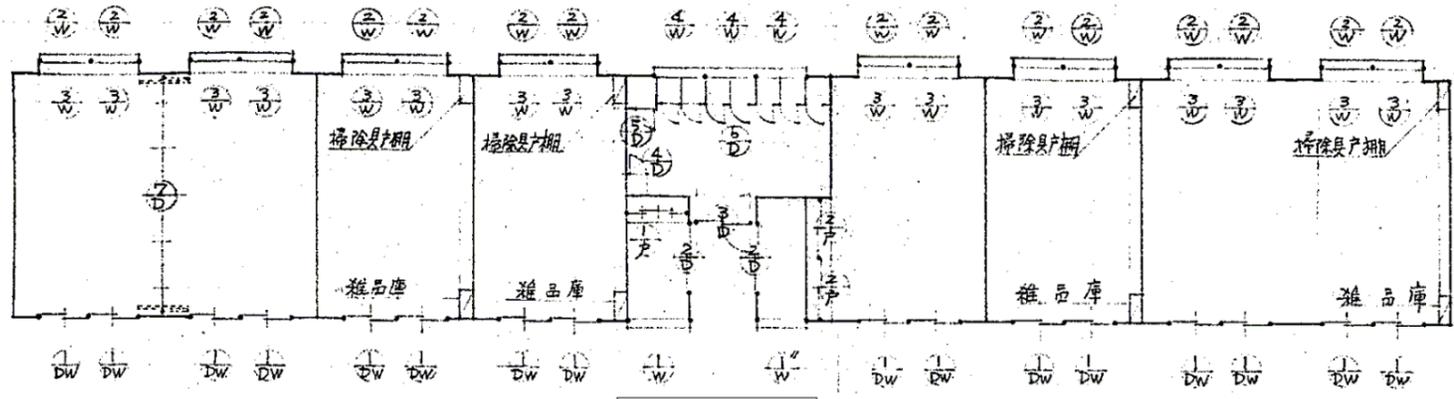
解体仕上り ・・・ 鉄骨部・鋼骨部・コンクリート部
 解体仕上り ・・・ 鉄骨部・鋼骨部・コンクリート部
 解体仕上り ・・・ 鉄骨部・鋼骨部・コンクリート部

各部分の部詳細



図面縮尺
A-2 100%
A-3 70%
A-4 50%

註記	工事名称：福山市立新市保育所旧園舎解体工事 福山市保健福祉局ネウボラ推進部保育施設課	主務	課員	次長	担当課長	保育施設課長	図面名称：	設計 R5 .05
								旧園舎既存耐計画
縮尺： NOSCALE								図面番号 22

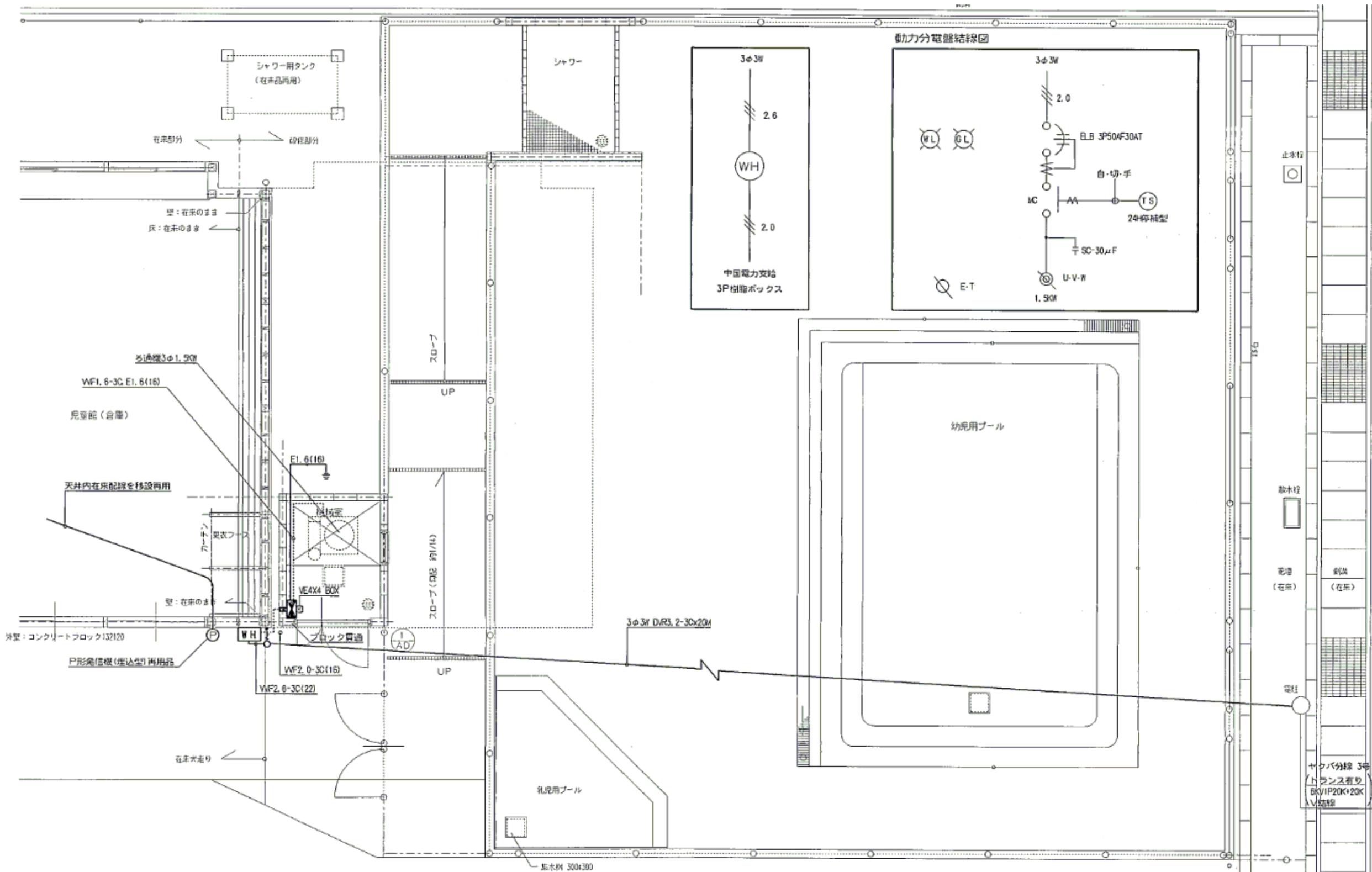


建具配置図

建具表

番号	名称	用途	寸法	数量	寸法					備註	仕様	材質	色	備考
					幅	奥	高	厚	重					
1	各室出入口扉	二枚引違	1800 x 1700	16	36 x 185	36 x 210	36 x 150	24 x 150	36 x 30	鉄板	黒			
2	湯沸器扉	二枚引違	1800 x 1700	2	33 x 100	33 x 150	33 x 120	33 x 120	33 x 30	鉄板	黒			
3	便所出入口扉	二枚引違	1300 x 1700	1	33 x 100	33 x 150	33 x 120	33 x 120	33 x 30	鉄板	黒			
4	便所掃除員用棚	片用	1800 x 500	1	33 x 120	33 x 150	全上	全上		鉄板	黒			
5	大便所出入口	片用	1800 x 150	1						鉄板	黒			
6	大便所出入口	片用	1200 x 400	7						鉄板	黒			
7	風呂扉	折戸	2670 x 6920	1	64 x 180	64 x 180	64 x 180	35 x 75	35 x 100	鉄板	黒			
1	湯沸器扉	二枚引違	1200 x 2610	1	33 x 50	33 x 60	33 x 60	33 x 30		鉄板	黒			
10	倉庫扉	二枚引違	1200 x 1660	1	全上	全上	全上	全上		鉄板	黒			
2	各室北側窓	二枚引違	1000 x 1700	32	全上	全上	全上	全上		鉄板	黒			
3	各室北側窓	二枚引違	450 x 1700	16	全上	全上	全上	全上		鉄板	黒			
4	便所側窓	二枚引違	500 x 1700	3	全上	全上	全上	全上		鉄板	黒			
1	湯沸器扉	二枚引違	850 x 2030	2	30 x 40	30 x 55	30 x 50	30 x 30		鉄板	黒			
1	倉庫扉	二枚引違	400 x 2030	1	全上	全上	全上	全上		鉄板	黒			
2	湯沸器扉	二枚引違	750 x 1600	1	全上	全上	全上	全上		鉄板	黒			
2	倉庫扉	二枚引違	680 x 1660	2	全上	全上	全上	全上		鉄板	黒			
	掃除員用棚	上段	1000 x 820	4	全上	全上	全上	全上		鉄板	黒			
	掃除員用棚	下段	500 x 820	4	全上	全上	全上	全上		鉄板	黒			
	雑品庫	二枚引違	950 x 820	8	全上	全上	全上	全上		鉄板	黒			
	湯沸器扉	二枚引違	600 x 760	32	33 x 50	33 x 60	33 x 60	33 x 30		鉄板	黒			

図面縮尺
A-2 100%
A-3 70%
A-4 50%



図面縮尺

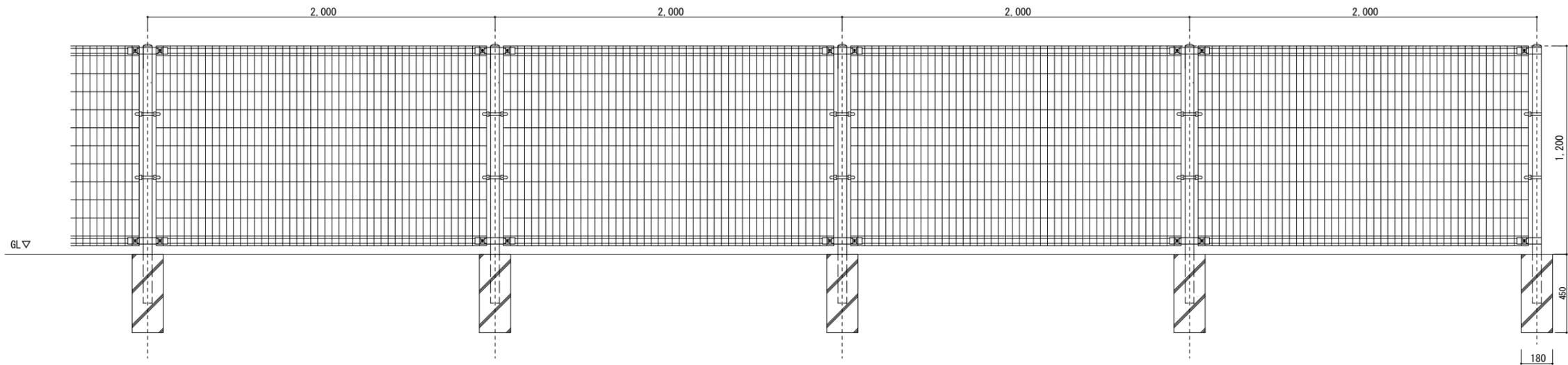
- A-2 100%
- A-3 70%
- A-4 50%

註記	

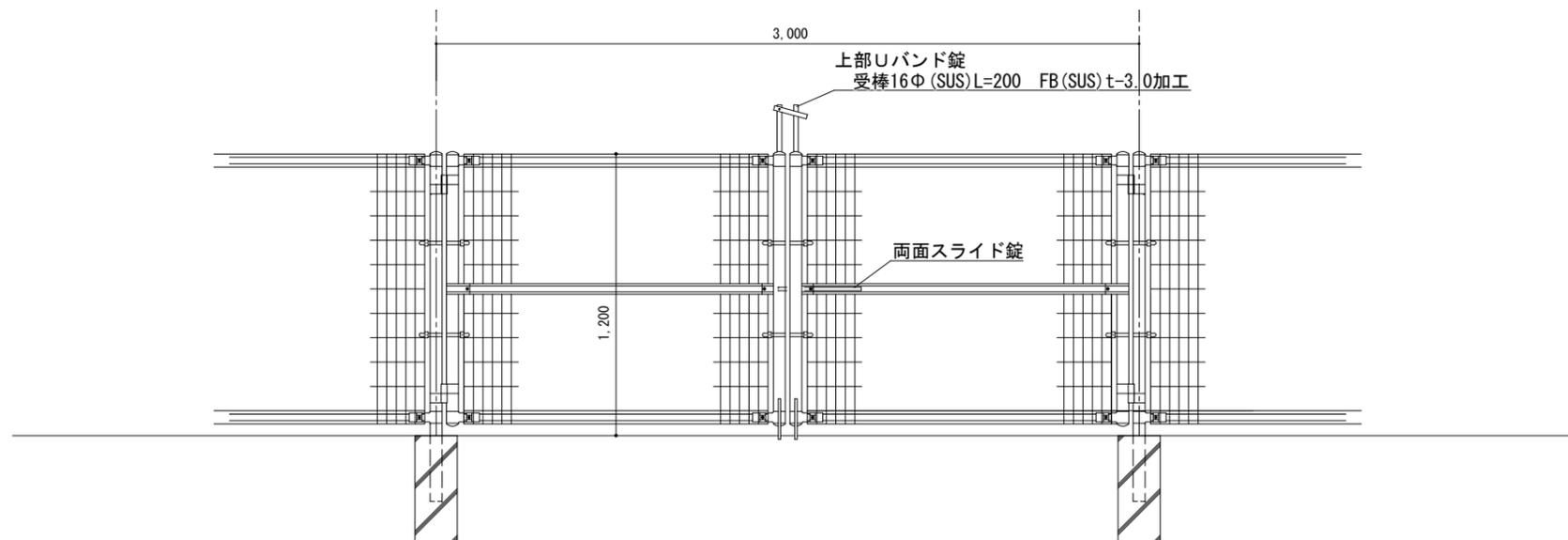
工事名称：福山市立新市保育所旧園舎解体工事
 福山市保健福祉局ネウボラ推進部保育施設課

主務	課員	次長	担当課長	保育施設課長	図面名称：
					プール既存電気設備図
縮尺：NOSCALE					

設計 R5 .05	図面番号
訂正	21
	22



フェンス立面図



フェンス扉立面図

図面縮尺

- A-2 100%
- A-3 70%
- A-4 50%

註記	工事名称: 福山市立新市保育所旧園舎解体工事	主務	課員	次長	担当課長	保育施設課長	図面名称:	設計 R5 .05	図面番号
	福山市保健福祉局ネウボラ推進部保育施設課						フェンス詳細図	訂正	22
							縮尺: 1:20		22

参考数量書

§ 工事名称 福山市立新市保育所旧園舎解体工事

§ 工事場所 福山市新市町大字新市 8 6 7 番地 5

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事建築数量積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立新市保育所旧園舎解体工事

工事場所 福山市新市町大字新市 8 6 7 番地 5

【工事概要】 一式

解体工事
建築物
旧園舎
プール機械室
附属構造物
プール
花壇

木造一部鉄骨造平家建て 延べ面積 470.23㎡
補強コンクリート造平家建て 延べ面積 3.65㎡

鉄筋コンクリート造

旧園舎棟解体工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
旧園舎解体	建物解体工事	1	式		
旧園舎解体	設備機器等撤去工事	1	式		
旧園舎解体	その他	1	式		
旧園舎解体	運搬等	1	式		
計					
ﾌﾞｰﾙ解体	構造物解体工事	1	式		
ﾌﾞｰﾙ解体	設備機器等撤去工事	1	式		
ﾌﾞｰﾙ解体	その他	1	式		
ﾌﾞｰﾙ解体	運搬等	1	式		
計					
その他工事	遊具移設	1	式		
計					
産業廃棄物処理費等	産業廃棄物処理等	1	式		
産業廃棄物処理費等	使用可能材評価額	1	式		
計					

旧園舎棟解体工事		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下 -	470.2	㎡			
内部仕上足場	供用1日賃料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 -	470.2	㎡			
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 平家用	470.2	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	470.2	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 掛払い手間 12m未満 - -	109.8	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 供用1日賃料 修理費含む 12m未満 - -	109.8	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 基本料 修理費含む 12m未満 - -	109.8	㎡			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	109.8	㎡			
養生シート張り	防災I類 掛払い手間 - -	109.8	㎡			
養生シート張り	防災I類 供用1日賃料 修理費含む - -	109.8	㎡			
養生シート張り	防災I類 基本料 修理費含む - -	109.9	㎡			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		109.8	㎡			
親綱設置	長手方向2本分	1	セット			
落下制止用器具	フルハーネス型	3	月			
計						

旧園舎棟解体工事		旧園舎解体		設備機器等撤去工事		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
蛍光灯器具撤去	吊下げ形 FL 40W ×2 再利用しない	1	個			
蛍光灯器具撤去	露出形 FL 40W ×2 再利用しない	6	個			
蛍光灯器具撤去	埋込形 FL 40W ×2 再利用しない	1	個			
蛍光灯器具撤去	露出形 FL 40W ×1 再利用しない	1	個			
蛍光灯器具撤去	露出形 FL 20W ×1 再利用しない	2	個			
蛍光灯器具撤去	埋込形 FL 20W ×1 再利用しない	3	個			
和風便器撤去	洗浄弁式 再使用しない	8	組			
小便器撤去	洗浄弁式床置小便器 再使用しない	5	組			
洗面器撤去	水栓1個、水栓2個 再使用しない	1	組			
ガス湯沸器撤去	瞬間湯沸器10号程度	1	か所			
天井扇撤去	換気扇300φ程度	8	か所			
給水管撤去	VP 止水弁共	90.1	m			
ポンプ撤去		1	基			
排水管撤去		105.5	m			
排水管撤去	VP125程度	21.4	m			
排水管撤去	VP150程度	11	m			
枡撤去		1	m ³			
設備配管補修費		1	式			
計						

